

新しい生活文化を発信する

アイム

主な記事
2面 特集2/男女共生社会に向けて
～市民意向調査報告より
3面 消費生活相談コーナー
4面 立川・この人
アイムインフォメーション/編集後記

4/1 NO.9
2004(平成16)年
年3回(8月・12月・4月)発行
発行/立川市女性総合センター
企画・編集/市民編集委員
(〒190-0012)立川市曙町2-36-2
☎042-528-6801 FAX042-528-6805
e-mailアドレス tc-aim5@m-net.ne.jp

特集1

みんなで実践、エコ的生活

世界各地からもたらされる異常気象や自然災害のニュース。地球が壊れていく……私たちは何をしたらよいのでしょうか。去る2月21・22日に、「第2回くらしフェスタ立川」アイムで発見 わたしのくらし」が開かれました。

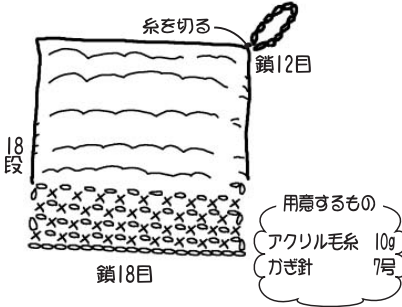
これは、私たちのくらしをよりよくするための催しです。
本号では、このフェスタで市民グループが紹介していた家庭ですぐ取り組める「くらしの工夫」を取り上げました。
一緒にエコ的生活(環境と共生する生活)とは何か考えてみましょう。

お役立ち手作りグッズ

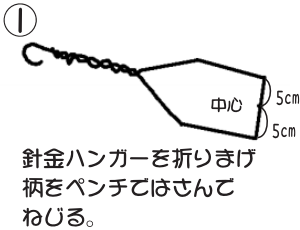
「アクリルたわし」

アクリル毛糸で編みます。
アクリル毛糸の繊維にあるミクロの溝が汚れを吸着。洗剤を使わなくても、汚れがよく落ちるので、水を汚しません。食器・茶渋も落ちます。風呂、洗面所洗いなど、いろいろな使い方ができます。食器を洗う前には、使い古したプリペイドカードや野菜、果物の皮などで食器についた汚れを取り除いておくと、さらに効果的。使い終わったアクリルたわしは、ぶら下げておくと乾きが早く衛生的です。乾いたままで靴磨き、ほこり拭きにもどうぞ。

★編み方★

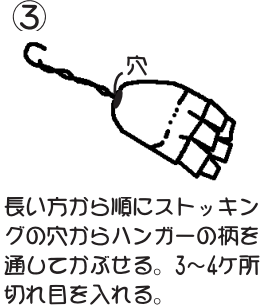
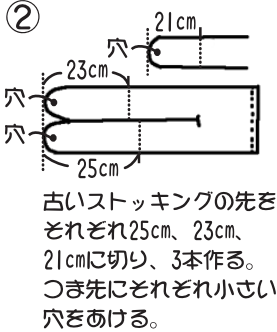


★作り方★

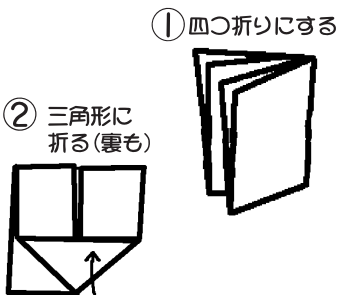


「すきまモップ」

針金ハンガーと古いストッキングで作ります。手の届かない狭いところにたまったほこりも、がっちりキャッチ。捨てようと思った物も、ちよつと思ひ直して、有効に再利用しましょう。

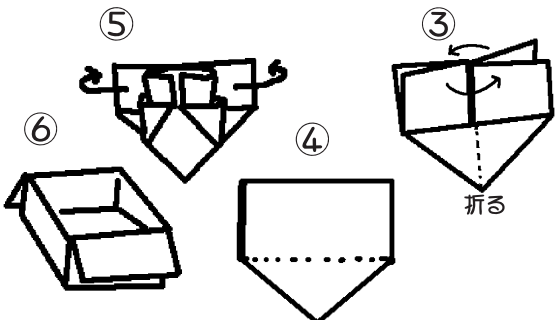


★折り方★



「チラシの生ゴミ入れ」

折り込みチラシなどで作った生ゴミ入れをシンクの横に置いておき、調理で出るゴミを入れましょう。三角コーナー等と比べて、水分が少なく、ゴミ焼却の負荷が減らせます。



エコ的生活のための3つの提案

- 1 資源を大切に！
- 2 自然環境を汚さない工夫を！
- 3 ゴミを減らそう！

環境学習の広がり

立川市では、東京都で養成された環境学習リーダーが、現在10名活躍しています。
その一人、山岸修子さんは、小学校の生活科で子どもたちと自然観察をしています。
「最近の子どもたちは、豊かで便利な生活に慣れ、環境を守るために節電や節水を心がけましようと言っても実感が

【重曹・クエン酸で環境にやさしい掃除】

重曹（酸性の汚れに）	クエン酸（アルカリ性の汚れに）
吸湿性があるので乾燥した所で保管。油汚れ、消臭に。薬局、生協等で販売。500g 250円前後(掃除用)。	においが気にならないければ食酢を2、3倍に薄めたものでも効果は同じ。雑菌の繁殖を抑え、消臭にも。薬局等で販売。100g 500円前後。
茶渋・コーヒー・紅茶のしみ、ガラス、プラスチック、電子レンジ、蛇口まわり スポンジなどにつけてこする。 〈トイレ・排水口〉 振りかけておく。 〈カーペット〉 重曹を揉み込み、一晩おき、朝掃除機 をかける。	洗面台、バスタブ、オープン皿、あくによる鍋の黒ずみ、タバコ のやに クエン酸水※をスプレーし、ボロ布などでこすり落とし、水で流す。 〈フローリング・畳〉 掃除機をかけた後、クエン酸水を軽くスプレーし、乾いた布で拭く。 ※クエン酸水：水1カップにクエン酸小さじ1を入れ、かき混ぜ溶かす。スプレー容器に入れて使うと便利。

できることから少しずつ

人が生きるためには、天然資源を消費し、自然を汚し、廃棄物を出すことは避けられません。そこでエコ的生活のために、資源の節約、自然環境の負担にならない物を選択し賢く使うこと、ゴミの減量などが大切な課題となります。何が環境との共生につながるのか心にとめながら、日々の忙しさの中でも取り組める小さな工夫を、できることから少しずつみんなで試してみませんか。

消費生活相談コーナー

Q&A 不当請求にご注意!!

貴殿のご利用頂いた有料サイト利用料金についてご通知申し上げます。

当社は〇〇興業としまして、この度依頼会社様より貴殿の未納利用料金に関する債権を譲り受けました事を本状にて通告致します。

貴殿の未納料金につきましては再三の支払連絡通知にも関わらず、誠意ある回答を一切頂いておりません。以上のような理由から本状を最終通告とし、3日以内に回答、お支払い頂けない場合には債権回収作業に着手させて頂きます。

本状をご確認の上ご連絡、お支払い頂けない場合には※貴殿の家族、親族、勤務先、友人等貴殿と関連があると見受けられる全てを調査し、回収にあたり発生する費用も含めた金額をお支払い頂くまで、ご請求させて頂きます。

尚、貴殿におかれましては、※近目中に何らかの形で措置を取らせて頂きますので、ご承知おくだい。

管理番号 あー一二三四五六
依頼会社 有限会社〇△
利用料金 九五、四三八
〇〇手数料 八四、八二五
遅延利息 三六、一一四
請求総額 二一六、三八七

※お支払いのお問い合わせには、右記記載管理番号とご氏名をお電話にてご照会下さい。

〇〇興業
〒〇〇〇××××東郷郡……………
連絡先 〇三〇〇〇〇〇〇××××

Q 利用した覚えのない有料サイトの料金が未納になっていると、上記のような話が届きました。どうしたらよいでしょうか。

A 覚えがなければ支払う必要はなく、個人情報漏れる可能性があるの連絡はせず、無視するよう伝えました。

アドバイス
はがき、黒枠の場合も等による不当請求が後を絶ちません！恐くなって払ってしまったという相談は、さらなる請求につながっています。不用意に業者と連絡はとらず、正当な請求かどうかは、消費生活相談コーナーにご相談ください。

消費生活相談コーナー

立川市では、専門の消費生活相談員が皆さんの相談を受けてその問題解決や被害防止のためのアドバイスをしています。困ったとき、おかしいと感じたときには、ひとりで悩まずお電話ください。相談は無料、秘密厳守で行っています。

相談受付 月～金曜日
午前9時～正午
午後1時～午後4時
TEL042-528-6810

カウンセリング相談

毎日の生活の中で、苦しいこと、困っていること、どうしたらいいかわからないこと、ひとりで悩んでいませんか。専門のカウンセラーがあなたの悩みなどを整理したり、解決のための糸口を探お手伝いをします。

面接（要予約TEL042-528-6801）と電話相談（TEL042-528-6802）があり、土曜日は電話のみの相談となります。

相談は無料、秘密厳守で行っています。

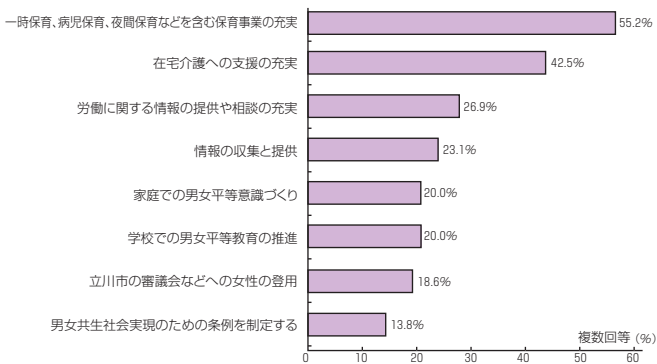
相談受付 火・木・土曜日 午後1時～5時

◆男女共生社会実現のための施策

市民が施策に望むこととしてあげた項目のうち、上位8位までをグラフにしました。

それによると、「一時保育・病児保育・夜間保育などを含む保育事業の充実」が55.2%、「在宅介護への支援の充実」が42.5%と、この2項目への期待が大きくなっています。この分野が充実することで、女性も男性もともに働きやすく生活しやすくなると考えられます。

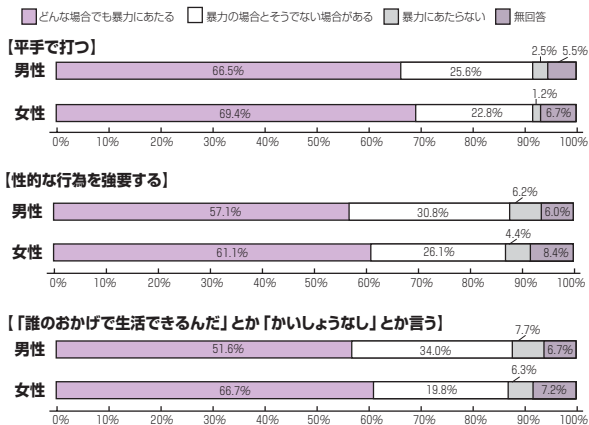
「労働に関する情報の提供や相談の充実」が26.9%で続いています。



◆夫婦間の暴力行為について

今回初めて、夫婦間の暴力行為に対する認識について調査しました。ここでは、女性の60%以上が「どんな場合でも暴力にあたる」としている3項目を取り上げました。

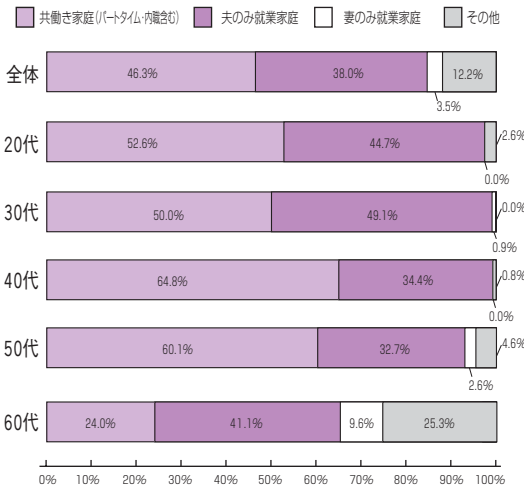
「平手で打つ」は、男性・女性ともに約70%が暴力にあたるとしていますが、他の2項目については、男女間の認識に違いがあります。特に、「誰のおかげで生活できるんだ、かいしやうなし」と言うことばの暴力（精神的な暴力）に対しては、男性51.6%、女性66.7%と認識に大きなずれがあります。



◆有配偶者世帯

の就業タイプ

全体では、「共働き家庭」は46.3%となり、年齢別で見ると、20～30代では約半数が共働きです。40～50代になると実に6割以上が共働きをしています。



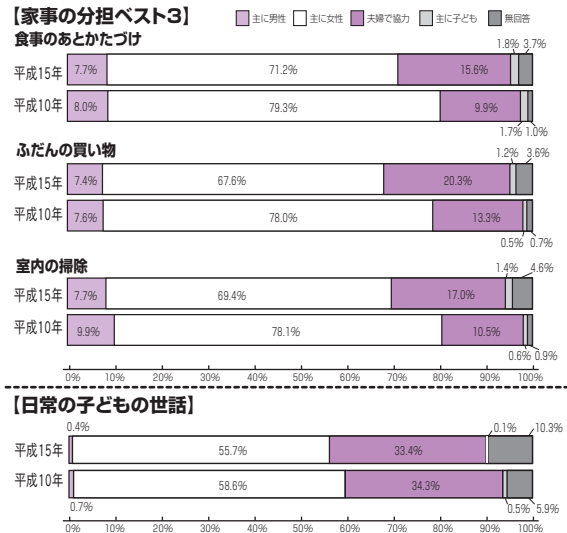
特集2

男女共生社会に向けて
市民意向調査報告より

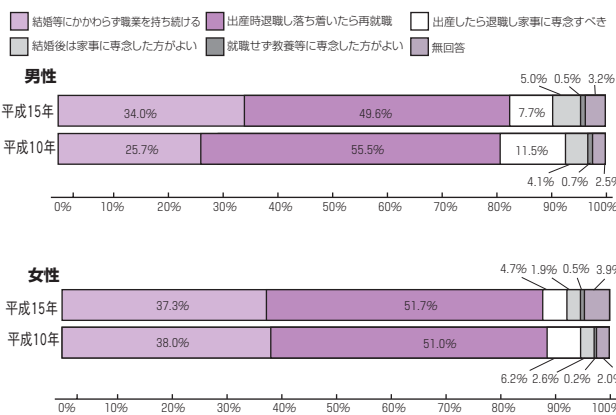
立川市では、男女共生社会の実現をめざして、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。このたびは立川市第3次長期総合計画第2次基本計画「策定に向けて、意向調査を実施しました。この結果は「第4次男女共生社会推進計画」策定にも反映させていきます。そこで「男女共生社会に向けて」の主な項目の調査結果を、グラフにまとめてお届けします。

◆家庭生活における分担

家事の分担は相変わらず女性が圧倒的に多いが、前回調査（平成10年）より各項目にわたって「夫婦で協力」が増えています。ここではそのベスト3をグラフにあらわしました。家事の分担は30～40代で夫婦の協力の割合が高く、全体の数字に反映しています。この世代は子育てと仕事の負担が大きく、夫婦の協力なくしては家庭生活が成り立たない現実がうかがえます。育児の分担においては、前回とほぼ同じ傾向を示しています。



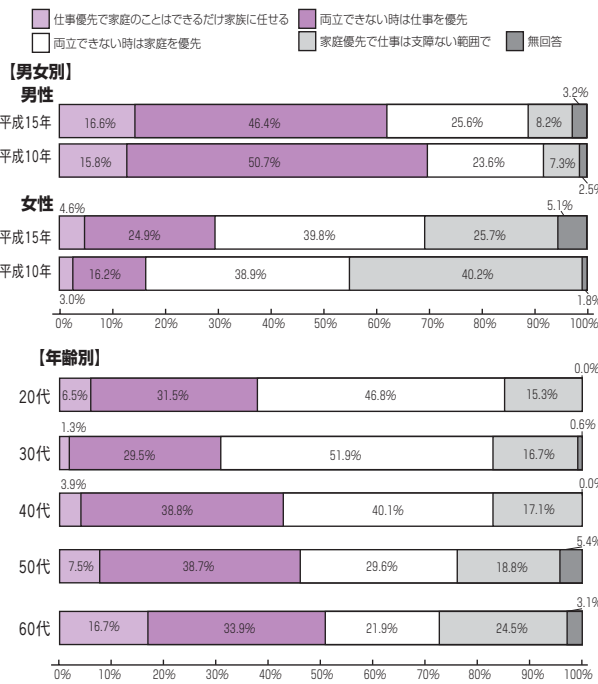
◆女性の就業に対する意識



前回の調査に比べて大きく変化しているのは「結婚等にかかわらず職業を持ち続ける」の項目の男性の数値です。今回は25.7%であったのに対し、今回は34.0%に増えています。その理由としては、社会環境・経済状況等の変化に伴い、女性の就業に対する男性の意識が変わり始めてきたことでしょうか。女性は「出産時退職し落ち着いたら再就職」の項目とともに、男性より高い数値を示していますが、前回との比較ではあまり変化はありません。

◆理想とする家庭と仕事との関係

全体的には、従来どおり「仕事が優先」と答える男性が多く、女性は「家庭が優先」となっています。前回調査と比較すると、「どちらかというと仕事優先派」は女性が増え、男性は減っています。女性の数字が増えた理由として、女性の仕事に対する意識の変化、夫の理解と家族の協力、女性の働きやすい職場環境の整備が徐々に進んできたことが考えられます。男性が減った理由は、20～40代の家庭優先派が約半数であるためで、男性の意識が従来の仕事第一からあきらかに変化してきたことが見てとれます。



【調査の実施概要】

- ◇調査の目的
本調査は、市民がどのようなことを市政に対して考えているのかを把握・分析し、「第2次基本計画（計画期間平成17年度～21年度）」の策定の基礎資料とするために実施したものです。
- ◇調査の方法
・調査対象者……………立川市に居住する満20歳以上の市民
・標本数……………2,000標本
・抽出方法……………住民基本台帳による無作為抽出
・調査方法……………調査票郵送による配布回収
・調査期間……………平成15年7月23日～8月29日
- ◇調査票の回収結果
・標本数……………2,000
・有効回収標本数……1,005（男性40.1% 女性56.8%）
- ◇回答者の属性
・職業 有職者……………57.7%
無職……………35.0%
その他……………7.3%

立川この人

来日して異文化体験。
PTA会長、引き受けてみました。



じんめい
リンデル・儘盟・グンナルさん
1959年スウェーデン生まれ。97年に史上2人目の外国人として東京芸術大学大学院邦楽科尺八専攻にて修士号取得。砂川町に在住。琴古流尺八奏者として演奏・講演等国内外にて活躍中。

●PTA会長になられたそうですね。

私は尺八の演奏と指導の仕事をしています。19年前に初来日し、立川に住んで11年あまり経ちますが、今回初めて、次男が通っている上砂川小学校のPTA会長を引き受けました。

会長として積極的に取り組んだのは、子どもたちの安全です。

上砂地区は最近開発の進んできたところで、マンション建設も多く、住環境が大きく変化しています。そのために、人の目の届きにくい場所も増えており、子どもたちに対する犯罪が目立っています。子どもたちに対する犯罪を防ぐには、住人が買い物や散歩のついでに回りを道をするなど、いつも「人の目」があることがとても大切です。

通学路の安全性も問題です。現在まだ解決できないのが、踏み切り近くに信号機を設置する案です。子どもたちがもし交通災害に巻き込まれるようなことになれば、教育を受ける機会も奪われてしまいます。私としては、通学専用道路をつくってあげてもよいのではないかとさえ考えています。

●PTA活動を通して何か日本社会に感じられたことはありますか。

やらなければならない決まりごとが

多すぎるように思います。

たとえば、例年どおりの行事でも会議を開いて承認を得る、すべての文書にトップが目を通す、会長がいちいち指示を出す、今までどおりの決められた手順でしなければならぬ、などです。それらをきちんとやろうとするほど、多くの時間が奪われて自由な活動ができなくなるのではないのでしょうか。

PTAは楽しくて、元気が出る会になるといいですね。父親も含めて、もつと大人が気楽に参加できるといいと思います。

●スウェーデンの様子を教えてください。

スウェーデンでは、教育・健康・安全についてはすべての人に平等の権利があり、それを社会全体で支える義務があるという考え方をしています。

60年代にそういう考え方のもとに福祉国家をめざしました。そのため個人の税金の負担はとも多いのですが、教育費や医療費は全額無料です。

また、子どもは18歳になると親から離れ独立し、学生ローンの制度を利用するなどして、若いうちから自分の力で生活していくのが普通です。結婚するとほとんどの家庭は共働きで、男性も育児休暇を取ることができます。女性のキャリアが守られるための制度もいろいろと確立されています。

スウェーデンのやり方がすべての点でベストではありません。しかし、少しでも参考になるのであれば、これから多くの機会をとらえて紹介したいと思っています。

アイムインフォメーション

アイムは、男女共生社会を推進し、女性も男性も豊かに生き生きと暮らせる社会をつくるための活動の拠点です。

募集します

①市民企画活動事業

2004年度の市民企画活動を希望するグループを募集します。女性を取り巻くさまざまな問題解決や男女共生社会の実現にむけた学習・調査・研究等の企画を男女共生係とともに講座やワークショップとして実施します。

応募条件 5名以上のグループまたは団体
(半数以上が立川市民で、主体的に企画・運営していること)

②アイムフォーラム実行委員

2004年度のアイムフォーラムの企画・運営を行う実行委員を募集します。原則として、会議は夜間に行います。

募集人員 若干名(市内在住・在勤・在学)



③立川市消費者問題研究会参加者

立川市消費者問題研究会(スローフードをすすめる会)は、くらしに関する身近な問題をテーマに活動しています。2003年度は「スローフード」をテーマにして、月1回の会議を中心に、実習やくらしフェスタ立川への参加などを行いました。

応募条件 市内在住の20歳以上の方

④くらしフェスタ立川参加グループ

くらしに関する問題提起や活動発表をしてみませんか。2004年度に開催する「くらしフェスタ立川」に参加するグループ(メンバーの中心が市内在住・在勤)を募集します。なおグループの代表者には実行委員会に出席していただきます。



⑤情報紙「アイム」市民編集委員

この情報紙は市民の編集委員により企画編集しています。あなたも編集委員になって楽しい紙面作りに参加してみませんか。保育あり。

募集人員 若干名(市内在住・在勤・在学)薄謝

募集については

申込締切 4月30日(金)(⑤は4月16日)
申込方法 ①は所定の用紙、②③⑤ははがきに住所・氏名・年齢・電話番号・応募動機を記入し郵送してください。④は電話で申し込んでください。
〒190-0012 立川市曙町2-36-2
立川市女性総合センター・アイム
☎042-528-6801

講師を派遣します

おおむね10人以上の団体、グループが希望する場所へ、講師が出向き、講座を行います。講師派遣の費用は、原則として無料です。

- ①男女共生社会推進や女性をとりまく問題解決のための講座
- ②毎日のくらしの中での疑問や生活に役立つ、消費者のための講座

[第4次男女共生社会推進計画の策定]

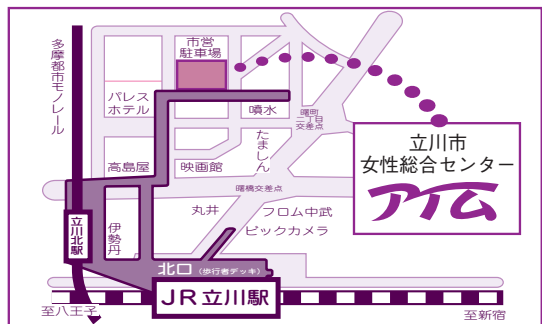
現行の「第3次男女共生社会推進計画」の計画期間が平成16年度で終了するため、平成17年度を初年度とする新たな計画づくりに取り組みます。去る1月17日に学識経験者や市民団体代表、公募市民で構成する「男女共生社会推進会議」に計画案の策定を諮問しました。

編集後記

●エコ的生活! 時間に追われる毎日の中で、「ねばならない」が増えるのはヤダナ: なんて思わず、健気な自然の営みに目を向け、子どもたちの将来を思い、「愛ある生活者」になりたいと思います。そして主婦だけの取り組みでなく、家族みんなを巻き込まなきゃね。(S・M)

●アイムで行われたくらしフェスタ立川は、小さいお子さん連れの親子が多かった。1階の子育て手づくりゾーンには、さまざまに工夫された手づくりおもちゃと、そこで遊ぶ子どもたちのきらきら光る目があった。イベントの中に子育てを支援する心意気があるのがとてもうれしい。(S・Y)

●グンナルさんは東洋の哲学・文化を深く学ばれ、日本の実情もとてもよく理解されています。ご自身は「禅的生き方」をしたいとおっしゃっていましたが、さまざまな体験を通じた観点からさらに地域への提言を期待したいと思います。(T・K)



情報紙「アイム」に関する「意見・感想をお寄せください。」